

## 受賞報告

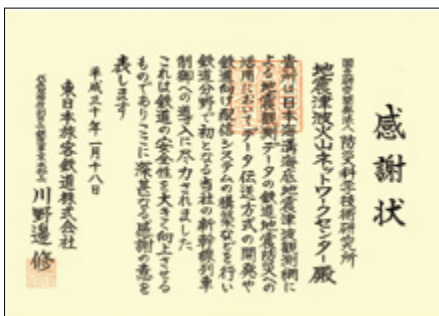
### 東日本旅客鉄道株式会社より感謝状をいただきました

地震津波火山ネットワークセンターが、陸海統合地震津波火山観測網「MOWLAS」(モウラス)の海底地震計データの鉄道地震防災への活用による鉄道の安全性向上への貢献に対して、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)より感謝状をいただきました。

これは、日本海溝海底地震津波観測網(S-net)による地震観測データの鉄道地震防災への活用において、データ伝送方式の開発や鉄道向け配信システムの構築などを行い、鉄道分野で初と

なる新幹線列車制御への導入に貢献し、鉄道の安全性を大きく向上させたことに対し、感謝状を贈呈いただいたものです。

地震津波火山ネットワークセンター青井真センター長は、「今回MOWLASのデータが社会基盤である鉄道の防災対策の向上に実際に貢献し、それに対して感謝状をいただけたことをありがたく思います。今後も我が国の防災力向上に向けて、MOWLASを活用した研究開発と成果の社会実装をさらに進めてまいります。」と語っています。



## 受賞報告

### 大阪府河内長野市社会福祉協議会より感謝状をいただきました

防災科研は、大阪府河内長野市災害ボランティアセンター(以下:災害VC)の運営活動において、情報共有・管理業務の技術支援をしたことに対して、同市社会福祉協議会(以下:社協)より感謝状をいただきました。

同市では、2017年10月22日~23日、台風21号の影響で土砂災害が発生したことを受け、被災者の復旧支援活動を展開するための災害VCを設置しました。防災科研は、同センターにて、平時より研究開発してきたeコミュニティ・プラットフォームを基盤にした情報共有ポータルサイトとWebGISマップツールを立ち

上げ、被災者からのニーズと支援活動の情報管理を行いました。また、同市社協の通常業務である被災者の継続的なケアに今後も役立てられるよう、要支援者データベースを構築する試みも実施しました。

社会防災研究部門の水井良暢特別技術員は、「台風被害地域の『よりよい復旧・復興(Build Back Better)』を祈念するとともに、災害時に役立てられる平時からの情報共有・運用の仕組みに関して、これからも協働型で研究開発をさらに積極的に進めてまいります。」と語っています。



災害ボランティアセンター



大判印刷マップ



運営者夕方ミーティング

## ぎゅっとぼうさい博! 2018

平成30年1月27日(土)、池袋サンシャインシティにて、ぎゅっとぼうさい博! 2018が開催されました。

ぎゅっとぼうさい博!は、1日でぎゅっと防災・減災が身につく博覧会です。防災科研は昨年度に引き続き、今回も参加しました。

今回は、Dr.ナダレンジャーの自然災害科学実験ショーやEーディフェンスの実験VR体験

の他に、首都圏レジリエンスプロジェクトやレジリエント防災・減災研究推進センター、気象災害軽減イノベーションセンター、そして地域防災対策支援研究プロジェクトの取り組みについて紹介を行いました。

当日は、約4,800名の方にご来場いただき、文字どおりいろいろな防災に関する情報が紹介され、たいへん盛況な博覧会となりました。



展示会場の様子



Eーディフェンスの実験VR体験



シンポジウム会場の様子

## 第22回「震災対策技術展」横浜

平成30年2月8日(木)～9日(金)にパシフィコ横浜で第22回「震災対策技術展」横浜が開催されました。

防災科研はセミナーと展示会へのブース出展を行いました。

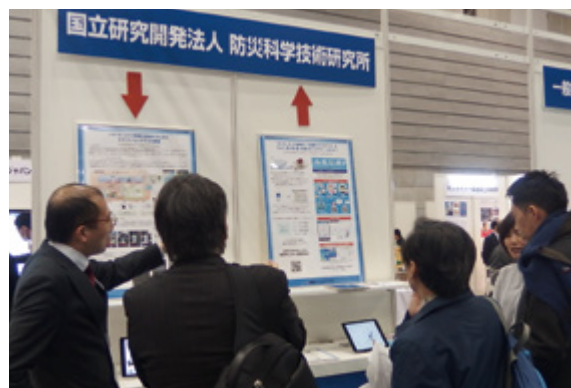
セミナーでは「レジリエンス・イノベーション2035」と題し、林春男理事長が講演を行い、多くの方が聴講されました。

ブース出展では、レジリエントな防災・減災機能の強化、気象災害軽減イノベーションセンター、地震ハザードステーションの取り組みやJ-SHIS、ふるりポ!等のアプリケーションを紹介しました。

2日間で18,657名の来場者を数え、多くの方に防災科研の取り組みを紹介をすることができました。



ブース出展の様子



J-SHIS、ふるりポ! 紹介の様子



## 第13回 成果発表会を開催しました

平成30年2月7日(水)、丸ビルホールにて、第13回成果発表会を開催しました。

関係省庁、民間企業、一般の方々など300名近くの方々にご参加をいただきました。

また、成果発表会には、文部科学省研究開発局 佐伯浩治局長らに列席いただきました。

講演前半は、気象災害を主なテーマとした「平成29年7月九州北部豪雨について」「2017年3月27日に栃木県那須町で発生した雪崩災害に関する調査研究」、今年度より新たに設置された「首都圏を中心としたレジリエンス総合プロジェクトの取組み」の3講演を行いました。

講演の間に行ったポスター発表は、総数72枚の展示があり、参加者と研究者で活発に話し合われる様子が見られました。

講演後半では、長年の研究成果が評価され、防災功労者内閣総理大臣表彰、文部科学大臣表彰の受賞につながった3名の受賞者により

「災害対応支援のための情報共有及び利活用基盤の開発」「地震防災のための共通情報基盤の構築を目指して」「首都圏の地震防災力の向上を目指して」の3講演を行いました。

参加者から質疑応答をいただくなど、各講演共に盛況に行われました。

なお、講演ポスター概要集は、webページよりご覧いただくことができます。

<http://www.bosai.go.jp/study/publish/>



開会挨拶  
林理事長



来賓挨拶  
文部科学省 佐伯局長



講演の様子



ポスター発表の様子

編集・発行



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 企画部広報課

TEL.029-863-7768 FAX.029-863-7699

URL : <http://www.bosai.go.jp/> e-mail : [k-news@bosai.go.jp](mailto:k-news@bosai.go.jp)

発行日

2018年3月20日発行 ※防災科研ニュースはWebでもご覧いただけます。